

地域ボランティアフォーラム 鳥取県開催
8月24日(水)・25日(木)

講義「常時啓発における将来及び若い有権者への“主権教育”の取組みについて」

鳥取県明るい選挙推進協議会 奥田 省一 会長



若い有権者の投票行動について、各国政選挙における20歳代の投票率の推移を示され、政治意識については調査資料を引用されながらの話でした。投票率低下の問題で何らかの対策を講ずるべき、学校で政治や選挙の重要性を教える必要がある、などの調査結果を踏まえ、鳥取県での学校への政治教育の取組みの紹介がありました。会長ご自身の関係で、3年前に県の教育長を招聘してのパネルディスカッションを実施したこと等から、明推協だけでできると、他団体・組織と協力しながらできることについても触れられました。

活動報告 模擬選挙推進ネットワーク 山崎 武昭 代表



学校における、本当の選挙を題材にした模擬選挙を推進しており、代表の山崎さんから、自身が模擬選挙に興味をもった経緯や、政治や選挙についての高校生の考えをはじめ、模擬選挙推進ネットワークがすすめている学校での模擬選挙の効果・効能等について話されました。効果的といえるひとつには、実際の選挙を題材にすることで、選挙公報等を読み、各生徒が政策を解釈し、考え、選択する、という点が挙げられるとのことでした。参加者との情報の共有を含め、模擬選挙についての意見交換（質問等）を行いました。

明るい選挙推進協議会の活動事例

山口市明るい選挙推進協議会 久保田 文子 理事・会計



山口市明推協が取り組まれている常時啓発活動や臨時啓発活動を紹介。街頭啓発に中学生も参加させている、広報誌を自分たちで作成しているなどの他、「山口シティカレッジ」という年間を通じての講座を、男女共同参画会議と運営しているといった話がありました。ある参加者からは、明推協だけでなく他団体と協力し合い何かを行うことは、明推協運動が広くまちづくりにも関与していることにもなるので、横の連携の大切さを再認識しました、といった意見が聴かれました。

ワークショップ

テーマ「明るい選挙推進協議会の課題と対策」

指導 創造性コンサルトグループ 小川 義則 代表



1グループ5名、計3グループで行いました。

参加者が日頃感じている明推協の課題、対策をホワイトボードに書き出し、模造紙にまとめあげました。長時間にもかかわらず、グループの参加者、それぞれが意見を出しあい、真剣に対策を考えられていました。

[各グループの模造紙はこちらからご覧いただけます。](#)